

意見の概要	意見に対する道の考え方※
<p>○第2章「5 障がいのある人」【課題】について</p> <p>「住み慣れた地域で」と地域を限定されているが、仕事や学業の都合で住み慣れていない地域に転居する方もいると思うので、この記載は削除すべき。</p> <p>(札幌市)</p>	<p>○道では、令和6年3月に策定した「第1期ほっかいどう障がい福祉プラン」において、障がいのある人が、自立した日常生活及び社会生活を営むため、道内の各地域において、必要な支援を提供できるよう相談体制やサービス基盤の整備などを推進することとしております。</p> <p>この計画に基づき道では、障がいのある人が、道内のどの地域であっても、住み慣れた地域で暮らしたいという希望が叶うよう支援体制の整備等に取り組んでいることから、「住み慣れた地域で」という表現は残し、案のとおりとします。</p> <p style="text-align: right;">D</p>
<p>○第2章「6 アイヌの人たち」【これまでの取組】について</p> <p>「北海道ウタリ協会」は、(現 北海道アイヌ協会)と追記すべきではないか。</p> <p>同じく、「北海道ウタリ生活実態調査」は、現在の調査名を追記すべき。</p> <p>(札幌市)</p>	<p>○ご意見の趣旨を踏まえ、「北海道ウタリ協会」を「社団法人北海道ウタリ協会(現在の公益社団法人北海道アイヌ協会)」に、「北海道ウタリ生活実態調査」を「北海道アイヌ生活実態調査」に修文します。</p> <p style="text-align: right;">A</p>
<p>○第2章「9 犯罪被害者等」【現状】について</p> <p>「高齢者が被害に遭いやすい」との記載があるが、高齢者に限らず被害があるように見受けられる。記載に誤りはないか。</p> <p>(札幌市)</p>	<p>○警察庁統計によると、高齢者が被害に遭いやすいのは、特殊詐欺であることから、「高齢者が被害に遭いやすい特殊詐欺のほか、SNS型投資・ロマンス詐欺が後を絶たない状況」に修文します。</p> <p style="text-align: right;">A</p>
<p>○第2章「11 性的マイノリティ」について</p> <p>道では、性的マイノリティのカップルの関係性を自治体が認証する「パートナーシップ制度」が導入されていない。</p> <p>同制度は性的マイノリティ当事者の人権を守る第一歩になるため、道が主体性を持ってパートナーシップ制度の導入を明記すべき。</p> <p>(函館市)</p>	<p>○この基本方針は、今後の道政における人権施策の考え方を示しているものであることから、具体的な取組であるパートナーシップ制度については、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> <p>道としては、引き続き、市町村の要望に応じて、性的マイノリティの方々を研修講師として派遣するなど、制度導入の機運醸成が道内各地で進むよう努めるほか、道内外の施策を把握し、市町村と共有しながら、可能なものから取組を進めるなど、性的マイノリティの方々が暮らしやすい環境づくりに取り組みます。</p> <p style="text-align: right;">C</p>

○ こどもの意見「人権を守るためにはどうしたらよいか（自由記載）」

意見の概要	意見に対する道の考え方※
<p>○誰かに相談する。 (札幌市)</p>	<p>○この基本方針に沿って、一人一人のちがいを大切にしながら、助け合って暮らせる北海道をつくるための取組を進めます。</p> <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">B</div>
<p>○女だからとか男だからとか外国人、障がいがあるからと言って差別などをしたりしないで生活をする。 (函館市)</p>	<p>○この基本方針に沿って、一人一人のちがいを大切にしながら、助け合って暮らせる北海道をつくるための取組を進めます。</p> <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">B</div>

問い合わせ先
環境生活部くらし安全局
道民生活課（人権施策係）
電話 011-206-6148